

ピンク汚れはカビじゃない??

浴室の床やシャンプーの底、キッチンの排水口や水切りカゴなどについているピンクのぬめり汚れ。洗ってもまたすぐに出てきて厄介ですよ。

これは「赤カビ」とも呼ばれていますが、実はカビではありません。

「**ロドトルラ**」という酵母菌やバクテリアの一種です。

水がある環境で繁殖するのが最大の特徴です。空気中にも存在するため、こまめにお掃除していても発生源を断つのが難しく、除去してもすぐに発生してしまいます。カビの発生場所とよく似ていますが、大きく違う点は、菌の増えるスピードと繁殖力の強さと発生場所の広さです。



浴室の床のピンク汚れ

特に浴室は高温多湿のため、頻繁に繁殖するというわけです。

そのスピードの速さは、お掃除後2.3日で発生してしまいますが、すぐに落とせばカビのように根を張ったりはしません。

浴室用中性洗剤を使ってこすり洗いをすれば簡単に落とせるので、根気よく掃除をすることが大切です。

完全に菌を取り除くためには、週に一度ほどエタノールやカビ取りスプレーの使用をおすすめします。タイルの目地や細かい箇所にはキッチンペーパーにたっぷりとしみこませ、10分ほど置き、汚れがなくなってから水でよく流しましょう。

ロドトルラをそのまま放置していると、簡単には落とせないガンコなカビの発生につながってしまうので、できるだけ水分を拭きとるように心がけましょう。

日頃から**ピンク**を見つけたら、すぐ落としてしまいましょう！

お掃除のポイントは？

- ・エタノールやカビ取り剤で確実に死滅させる
- ・根気よくお掃除する

予防方法は？

- ・水分を残さない
- ・シャンプーや石鹸カスをしっかり流すようにする
- ・換気をする

塩を使ってカロリダウ♪

ナスのアク抜きを塩でやってみてください。料理に使う大きさにナスを切ったら、全体にいきわたるように塩をまぶしましょう。5分ほど置いた後に軽く絞ればアクと水分が出てきます。

ペーパータオルで水分を取ってもよいですが、塩分が気になる場合はサッと水にさらして絞ってから料理をしてください。

この下ごしらえをすると、ナスが余分な油を吸わずヘルシーに、また味がしみこみやすくなって一石二鳥です。



塩をまぶして水気を絞ったあとのナス

そろそろ大掃除のスケジュールを立てましょう

10月頃から週ごとに掃除をする場所を決めて少しずつ進めれば、年末の大掃除がとても楽になります。また、徐々に日が短くなるので、ベランダや窓の掃除は日の高いうちに済ませましょう。

右のようなチェックリストを活用すればやり残しも防げます

年末大掃除チェックリスト

<input type="checkbox"/> 窓ガラス	<input type="checkbox"/> 床・畳
<input type="checkbox"/> 網戸・サッシ	<input type="checkbox"/> 照明器具・家電
<input type="checkbox"/> グラウト・カー	<input type="checkbox"/> 壁・天井
<input type="checkbox"/> 冷蔵庫	<input type="checkbox"/> 収納部・建具
<input type="checkbox"/> 食器棚	<input type="checkbox"/> エアコン
<input type="checkbox"/> キッチン	<input type="checkbox"/> 下駄箱
<input type="checkbox"/> 洗面所	<input type="checkbox"/> 玄関
<input type="checkbox"/> 浴室	<input type="checkbox"/> ベランダ
<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> 庭
<input type="checkbox"/> 洗濯機	<input type="checkbox"/> 家具

「煮沸」ふきんの煮洗い

キッチンのふきんは清潔に保ちたいですね。漂白剤を使って除菌する方法が一般的ですが、洗剤を使わない昔ながらのやり方で煮洗いという方法があります。漂白剤の匂いが気になる方には特にオススメです。是非お試しください。化学繊維ではなく綿や麻の素材に限りませんが、食事の後片付けやお料理のついでにできちゃいます！

鍋に湯を沸騰させ、10分程度煮沸してトングなどで数回裏返しましょう。汚れや臭いが気になる時は、水から約スプーン一杯の重曹を加えます。煮ていると湯がどんどん茶色くなり、汚れが取れたことが実感できます。少し冷ましてから水洗いをして完了です。強い洗剤もゴム手袋も必要としない、環境と人にやさしい方法です。



アンケートにご協力いただきありがとうございました！

お客様アンケートでは大変貴重なご意見とご指導をいただきました。ご要望にはひとつひとつお応えしていきたいと存じます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



スタッフイチオシ!

柘植(つげ)櫛は一生モノ

柘植の櫛は静電気を起こさないで髪をしっとりさせ、作る時にしみこませた椿油が髪にツヤを与えます。水や熱に弱いので濡れた髪には使わず、またドライヤーと一緒に使わないようにしましょう。手入れは月に1回程度、椿油をしみこませた柔らかい布で汚れを拭き取ります。そして年月が経つと徐々に深みのある銚色になっていきます。髪質によって適した歯の粗さが違うので、お店の方に相談するとぴったりの櫛を勧めてくれます♪ 携帯用や男性用もあります。



江戸時代、「くし」は「苦、死」につながると、櫛屋ではなく小間物屋や十三屋と言われていました